

第10回奈良県税制調査会について

1 日時・場所 平成27年9月17日(木) 16:00~17:15 第一応接室

(出席者)

委員	上村敏之	関西学院大学経済学部教授
	佐藤主光	一橋大学大学院経済学研究科教授
	鈴木将寛	みずほ総合研究所主任研究員
	竹本 亨	帝塚山大学経済学部准教授
	鶴谷将彦	奈良県立大学地域創造学部講師
	林 宏昭	関西大学経済学部教授
	横山直子	大阪産業大学経済学部教授

県 荒井知事、奥田副知事、
野村総務部長、一松地域振興部長 他

2 議事内容

(1) 本県の自主的な税制について(諮問)

- 「奈良県森林環境税について、使途事業は拡大しているが、整備すべき施業放置林はまだ多くが残存している。このような中、制度(税率、課税期間、使途事業など)は、今後どうあるべきか。」と調査会に諮問を行った。
- 同様に法人県民税特例制度についても、「昨今の経済情勢により、税収は減少傾向であるが、今後使途事業費については大きく増加することが見込まれる。このような中、制度(適用条件、使途事業など)は、今後どうあるべきか。」と諮問を行った。
- 諮問に対する答申は、11月中旬にいただく予定。

(2) 政府要望について

平成27年7月に実施した政府要望の内容について説明を行った。

(3) その他

次回の奈良県税制調査会の日程の連絡を行った。